## (参考資料)

- ① 事業実施広報・チラシ等の作成物
  - ・島民に向けた調査協力依頼
  - ・試行プログラムの案内
- ② 資源カードデータ
  - 内浦(海)
  - ・内浦 (里山・畑)
  - · 内浦(集落)
  - ・釜谷(里山・畑)
  - ・釜谷 (集落)
  - 釜谷(海)
- ③ 指導者手引書案
  - ·農業・畑(秋)
  - 農業・畑(春)
  - ・森・山仕事 (秋)
  - ・森・山仕事 (春)
  - ・工芸品 (秋)
  - ・共同作業(秋)
  - ・共同作業(春)
- ④ 島外者が参加協働可能な年中行事の検討案
- ⑤ お手伝いプログラムパンフレット類
  - ・チラシ「粟島の恵みを生み出すお手伝いツアー」
  - ・パンフレット「あわしまーおじいちゃん・おばあちゃんとの出会いとお手伝い」

#### ① 事業実施広報・チラシ等の作成物

平成 27 年度 「新潟県大学生の力を活かした集落活性化事業」 粟島しおかぜ地域共生プログラム構築研究

# 地域を元気にする粟島の自然と生活文化の掘り起こしのための 「島歩き案内と調査協力」のご依頼

大正大学では、今年度、栗島浦村の新潟県委託事業として「栗島しおかぜ地域共生プログラムの構築研究」に取組 んでおります。



本事業では、島民と島外者が連携協力して、島の潜在能力を掘り起こし、学び、有 効活用を促していくことで、栗島の活性化に資する調査研究を行います。また、栗島 浦村の地方創生戦略策定の連携協力事業でもあります。

取り組みに当たっては、夏から秋にかけて3回にわたって東京から8~10名程度 の大学生等が来訪します。第1回目の取り組みとして、活動分野別にグループを編成 し、島の皆さんと大学生が一緒に島を歩き、島の自然・文化を見つめ直すとともに、 その価値を再発見し、どのように活用していくか検討するための、島内散策と調査・ 取材活動を行いたいと思います。

皆様におかれましては、島の自然・文化に特に造詣の深い住民の知恵袋として。次 の①~④の中のご希望の分野において、右記の日程でのご参加とご協力を賜りたく、 何卒どうぞよろしくお願いいたします。

①里山(山菜類・竹林・薪取等) , ②農業 (家庭菜園や馬牧場なども含む)

③海・漁業 4 ④食 (郷土料理) や生活文化 (暮らし・道具・神仏・歴史等)

## 1. 日時·場所

8月3日(月) 19:00~20:00 (さっこい交流館:事前打合せ)

散策会・調査の メインイベント

8月4日(火) 9:00~14:00 (釜谷の方:さっこい交流館集合)

9:30~14:00 (内浦の方:老人憩いの家集合)

14:30~17:30 (さっこい交流館)

8月5日(水) 10:30~12:00 (役場:成果報告と検討)

## 2.8月4日の調査活動と作業内容

持ち物等:野外を歩ける服装で。昼食を各自お持ちください。

9:00 さっこい交流館集合(※内浦地区は老人憩いの家9:30集合)

班分け(1班:島案内人+大学生+子ども達+他5~6名で構成)

9:15 班別に島内散策・調査(※内浦地区は9:45~)

14:00 調査終了・さっこい交流館へ移動

14:30 さっこい交流館にてまとめ作業

- ①必要に応じて追加調査や聞き取り調査
- ②島資源カード作り
- ③島の暮らし人物名鑑作り
- ④島の自然・文化地図作り

17:00 発表会

17:30 終了·解散









别

実



## 粟島秋のお手伝いツアーの実施のお知らせ

大正大学では、今年夏より島の人たちと島外者で共に取り組むことで島の活性化につながるプログラムについて検討してまいりました。 その成果を活用した秋のお手伝いプログラムを実施します。ご参加・ご支援のほどよろしくお願い申し上げます。



## ■日時 11月14日(土) 13:30~19:00 15日(日) 9:00~11:00

■場所 島内の畑や里山(郷土料理教室はさっこい交流館)

### ■日程

•11月14日(土)<1日目>

13:30 役場集合・移動

14:00 プログラム1 おばあちゃんの畑お手伝い(内浦・釜谷地区)

・豆・大根収穫・運搬など

16:30 プログラム2 郷土料理講習会(さっこい交流館)

・大根料理・煮物他、季節の島料理

19:00 1 日目終了

•11月15日(日) <2日目>

9:00 資料館前集合

9:15 プログラム3 島伝統の竹林整備講習会(宮口)

・草・細木刈・枯竹整理・竹伐採・運搬集積

てご編み講習会(資料館2階)

てご編みによる小物類づくり

11:00 終了・温泉

#### ■持ち物など

畑仕事・山仕事に適した服装でご参加ください。 帽子・軍手・長靴・フードつきパーカーなど。

■問い合わせ・連絡先など

大正大学地域構想研究所(出川) № 03-5394-3048

E-mail s degawa@mail.tais.ac.jp

栗島浦村役場企画係(佐久間) Ты 0254-55-2111

E-mail project@vill.awashimaura.lg.jp



タイトル	キーワード	地区名	説明	備考	写真
タコかご	海	内浦1	港に仕掛けられているものもある・小さなタコや料理の下ごしらえの段階で出た魚の頭等を餌として使う・9月にはこれを利用したツアーのプランもある・釣れるのは真鯛など		
石の錘	海	内浦	小型の船が錨の代 わりとして使っていた もの・海の深さを測る たけにも使用された・ 現在ではロープが浮 かないように重石とし て沈める(まわりの ロープは手編みで、 石は島の)		
ガラス玉	海	内浦	ウキの一種で、初め は木の樽だったもの が変化した・現在は プラスチックや発泡ス チロールが主流であ る		
<b>⊐</b> □	海	内浦	船を陸へあげるため に使う木材・現在は あまり本数が必要な いが、昔は砂浜だっ たためレールにする 必要があった		

ボンデン旗	海	内浦	網がどこからどこまで かの目印・海流の速 さや方向を調べるた めに立てる・沈めるた めに金具をつける・ 旗の色で様々なこと を表す	
礒貝船 跡	海	内浦	昔は現文がおいて あったが、現在は実 物がなくこの看板の 表記のみとなってい る	原、現・他  「日本のでは、
雑藻	海	内浦	食べられない海藻の 総称・少し前まで、あ まり海藻がなかった が近頃増えてきた	
山道	海	内浦	海の岩場が通行できなかったため、山菜をとる、竹をとる、畑作等に利用していた道・現在はほぼ利用されていないが、年に一度整備がされており避難等をする	

パレット	海	内浦	フォークリフトのツメ にパレットの穴をひっ かけ、荷物や魚の上 げ下ろしの際に台に なる・昔は木製だった が現在はプラスチッ ク	
リフト	海	内浦	魚(箱)や汽船の荷物を降ろす・車の前方にツメがついておりパレットの穴に引っ掛ける	
元の定置船 発着所	海	内浦	現行の観光船発着 所・1983年7月21 日まで定置船の発着 所だった・1966年に 埋立て事業が開始さ れた	
弁天岩	海	内浦	大漁の神を祀る岩・ 手前にある水は海水 で、奥にある松のあ たりが昔の海岸線で あり、水がそこに残っ ていることが証明と なっている	

ドラム	海	内浦	網を巻き上げる機械 (揚網機)・現在は電 気でまいているが、 昔は手動かつ機械も 自作だった・木製だっ たため、機械がささく れて網が切れてしま うこともあった	
元砂浜	海	内浦	1964年6月16日1 3時02分新潟地震 が起こる・発電所の あたりから海水浴場 まですべて砂地・幅6 00m、長さ2000m	
錨	海	内浦	トビウオ漁等の用途 や船の大きさによっ て、錨の大きさも変化 する・大きさの関係か ら現在はしようされて いないのもある	
ロープをまく 車輪	海	内浦	定置網漁に使用・現 在はほとんど使われ ていない	

大草重康先 生の慰霊碑	海	内浦	海底の地すべりの際、新潟大学積雪地域災害研究センターより調査のため島へ来た教授・海底の潜水の 査のための潜水の が、酸素ボンベの酸素が足りずに亡くなる	
ヤリイカ漁 の錨	海	内浦	使い方は普通のもの と同じだが、大きさが ほかの船のものより も大きい	
アラレコダマ	海	内浦	通称「ダマ」・岩場で 取れる・食用	
元役場	海	内浦	1974年3月24日海 底の地すべりによっ て海に沈む・砂浜に 役場が強引にたてら れた・これにより港等 の位置が決定された	

保育所跡	海	内浦	役場の隣にあったた め海底の地すべりに よって一緒に海底に 沈んだ・当時両方無 人だったため犠牲者 はでなかった		
------	---	----	---	--	--

タイトル	キーワード	地区名	説明	備考	写真
庚中塔	里山	内浦			
角浦沢	里山	内浦	ー年中枯れない沢 水・おもに加工場で 使われている(魚な どの加工)・無料の 水・畑に行くときに 水を汲んで持って いく		
島の落花生	里山	内浦	島ではここだけで栽 培されている・カラ スに狙われるため 厳重にネットを張っ ている		
工芸品づくり	里山	内浦	1月〜2月・編み物 やかご作り・あさひ もや布を使う・竹の かごは岩のりつみ で使う		
パノラマ新道 入口	里山	内浦	ワラビ、フキ、うども ある・かつて汲み取 り式トイレの処理場 もあった・マラソンで も使われていた		ELV57REAL

牧平の畑(クロベエさんの畑 その1)	里山	牧平	イチゴ、オクラ、トウ モロコシ、ゴーヤ、 スイカ、メロンなど・ カラス除けのネット が張られている・畑 のすみに堆肥場	
クロベエさん の畑 その2	里山	牧平		
クロベエさん の畑 その3	里山	内浦		
クロベエさん の畑 その4	里山	牧平		
ショウノミヤの 畑	里山	ショウノミヤ	ゴボウ、サツマイ モ、サトイモ、カボ チャ	

水田跡の畑	里山	内浦	地震後、隆起した影響で畑になった・ 梅、ブルーベリーな ど	
島の畑の小 屋	里山	牧平	耕包機・水タンク	
乙姫の湯	里山	内浦		
島ノ木平の植 林地	里山	内浦	50年ぐらいの植林 地・材としてコストが 合わず出せない・粟 島杉は中が黒くなる 傾向がある→製品 としては難しい側 面・下に水が出ると ころ有り	
竹炭、竹酢液 製造プラント	里山	内浦	真竹、孟宗竹が集 積・現在はあまり使 われていない	THE STATE OF THE S

島の馬	里山	内浦		
正ノ宮(ショウ ノミヤ)	里山	内浦	年中枯れない水・川 魚が生息している・ 現在は草に覆われ ていて使われてい ない・生物の調査が 入ったこともある	
牧平	里山	内浦	JAが借りて種苗で 使っていた・その後 は戻されて個人で つくっている	
第3展望台	里山	内浦	ノリツミ・ウド採りの ルートになっている	
カツラテゴ	里山	内浦	軽くて水切りもよい・ カネくらにある・カツ ラを山から刈ってい く・弁当を入れたり、 採った野菜を入れ たりしていた・縄の かごよりも便利	

角浦沢 湧水	里山	内浦	角浦沢かわ横井戸 でとっている湧水・ 最近作ったもの	
湧水 宮口	里山	内浦	飲み水にしている・ わざわざ汲んでいく 人もいる(井戸の水 は塩分が高いた め、沸かすとガリが でるから)	
サルナシ	里山	内浦	貴重樹・おいしい苗 として買うと高価な もの・秋ごろ収穫	
堆肥場	里山	牧平	竹のチップを利用	The X-facility
モウソウダケ	里山	内浦	島内でもここにだけ 育っている・ものす ごく増える・50年ぐ らい前から定期的 に切って、管理して いる・竹チップ活用 など・たけのこ4月 ごろ収穫して食べら れる	

水タンク	里山	牧平	舟を活用・雨水をた めて農作業に利用	
正ノ宮の山と 畑	里山	内浦	現在は小豆、大豆 などを育てている・ 畑も今は一部分は の値林地になっまう 自分で、上のほうはて いる・40年ごろまで 自分で島内を・40年 前は木出しもして、 大工さんもい て、製材もあったり・ 現在ではなが、 現在によったが	
真竹	里山	内浦	とてもおいしい・や わらかい・稲のハサ で使う・皮を拾って ほして出荷	
小豆	里山	正ノ宮		
長いも	里山	正ノ宮	竹の支柱を使って 作っている・キュウ リなども竹の支柱を 使う	

大豆	里山	正ノ宮	味噌作り・草刈りは 夏に1回	
アワシマカン ゾウ	里山	内浦	食べられる・植えた もの	
真竹	里山	背中平	真竹、ブドウ、クリ、 キウイ、桜、ナシ、 ザクロなど・人除け ネットあり	
島の最北端	里山	内浦	春、連休明けにミズ、フキ採りが解禁・たたみのひも3 本分だけ採ることができる・ミズ、フキは 漬物にして保存	
タニウツギ シバノキ	里山	内浦	畑の垣根のようにし て利用	

ウコッケイ	里山	牧平	40羽ほど・卵取りを して、出荷もしてい た・カンゾウさんの 弟子が現在は飼育 している	
-------	----	----	--	--

タイトル	キーワード	地区名	説明	備考	写真
きゅうり その1	集落	内浦			
エゴねり	集落	内浦	海藻でつくられる・干した エゴ草をろ過して、洗っ て水に浸したものを、10 Ogあたり酒コップ2杯く らいを入れた鍋で煮る・ 容器にいれて固める・た れは味噌、酢、砂糖、ね りからしをいれることもあ る・くろみつ、きなこでも よい		
矠突観音	集落	内浦	学校の近くにある		
JII	集落	内浦	昔はここに川が通ってい た		

乳入観音	集落	内浦	子供が生まれた際にお 宮参りでくる・乳入観音 を祀る社・てるてる坊主 のようなものは乳首を表 しており、観音様の乳房 の数(24?)を作り、乳 が多くでることを祈る	
きゅうり その2	集落	内浦		
杉	集落	内浦	八所神社にあった大き な杉・明治4年からここ に植わっている	
八所神社	集落	内浦	八つの神様を祀っている・大正11年1月建立・ 普段は鍵がかけてある・ 神主もいるが、現在はな かなか来ない(昔は毎日 来ていた)	

銀杏	集落	内浦	五社神社がもともとあった場所にある銀杏の樹・樹齢300年以上・脇川氏の植えた3本の銀杏の1本	
神明様	集落	内浦	通称が神明様・杉山の中にあり、34段あるおりとの先に社がたっておいと参拝できない(そのため下に参手所が設けられている)・村の人はなかなか来ない・天照大御神を祀っており、島にある神社では最が高い・神職が祝ったあげること、祭りの際本社にお参りに来るこ	
風の三郎 様	集落	内浦	風の大神が祀られてい る・木の根あたりに社が ある	風の天神が祀られ、風の三郎様と風の天神が祀られ、風の三郎様と表ら、たったその九月九日に前田家がお祭りしている。
五社神社	集落	内浦	現在は、八所と合同になった・本来は「石動(いするぎ)神社」という・五つの神様を祀っている・本社が管理ができず、壊れてしまったため八所内へと移された	

神明様参拝所	集落	内浦	杉山の中にある神明様 の参拝所・本社まで行く のが大変なのでここで参 拝する・村のところどころ にある様子	
いももち	集落	内浦	じゃがいもをゆでて潰し て、でんぷん粉を入れて こねたもの・中にあんこ をいれてある・おいしい	
桕	集落	内浦		
不明	集落	内浦		

薬師寺堂	集落	内浦	本保本家のすぐ横の道から行くことができる・本保家個人が祀る薬師如来・1月7日の初薬師、11月7日の終薬師にはお参りに来る・現在は鍵がかかっており見ることはできない	はは、
本保本家	集落	内浦	本保本家は昔の村長にあたる家	
丸山商店 前通り	集落	内浦	粟島の旧中央道路・祭り のときはここにおみこし が通る	
教員住宅 「しおさい」 入口	集落	内浦	昔はここにお寺の入口があった・お寺のあとに学校→役場→今に至る・裏にはお坊さんの石碑がある(新新潟県指定文化財)	

古峰神社	集落	内浦	本社は栃木にある・脇川 本家が祀っている	
脇川本家	集落	内浦	本保家と同じく村長の家である・銀杏の樹を、家の裏/八所神社/五社神社と3本植えた(現在は五社神社にしかない)・武家屋敷のような構造になっている・古峰神社を個人で祀る	
忠魂碑	集落	内浦	日露戦争の戦死者の忠 魂碑	
軒下にある板	集落	内浦	冬の間は風が強くなるため、この板をしるしに柱 をたてていた	

弁天様	集落	内浦	昔は海に囲まれていた・ 岩の上に弁天様が祀ら れた社がある・まわりの 松の木は無形天然記念 物に指定されている・4 月15日にお祭りを行う	
庚申塔	集落	内浦	集落の下、中央、上にある庚申塔・写真は集落の上にあるもの・昔はすぐそこまで海がきていたため道幅は狭かった様子	

タイトル	キーワード	地区名	説明	備考	写真
さつまいも		釜谷	ある程度つるがの びてきたら反対に 返して成長を抑止		
みず	農業	釜谷	茎を食べる(湯がい ておひたし)筋を取 らないと歯に挟まる		
ひょう	農業	釜谷	ここでは食べない・ 山形のほうでは食 べている		
いちじく	農業	釜谷			

オクラ	農業	釜谷		
たらの木	農業	釜谷	小正月に門松の代 わり・昔からやって いる	
かぼちゃ	農業	釜谷	皮が白い・煮物とし て食べる・昔から食 用	
まき小屋	農業	釜谷	道沿いにある小屋・ 中にはまき・杉から けやきまである	

いちご	農業	釜谷	同じ場所では育て ない・収穫時期6月	
くるみ	農業	釜谷	30kgくらいとれる・ 海苔巻きの中に入 れる・収穫してすぐ は水にさらして腐ら せる	
とまと(2)	農業	釜谷	網を張っていないの で葉を代用	
大豆(枝 豆)	農業	釜谷	昔は大豆としてしか しようしなかった・各 家庭で作る味噌に 使う	
きゅうり	農業	釜谷	たて植え・冷や汁の 材料・大きめ・年配 の人が一人でがん ばっている	

つるむらさき	農業	釜谷	おひたし・しゃきしゃ き触感・7~8月が 旬	
小豆	農業	釜谷	二毛作・じゃがいも →小豆・小豆である 理由は不明	
椿	農業	釜谷	個人の土地と山に 植わっている・椿の 山の土地の栄養は すべて椿に・椿のみ が落ちて自生	
肥料(葉)	農業	釜谷	秋の落ち葉を集め て置いておく・土に 混ぜて使用	
ガラス玉	里山	釜谷	昔うきとして使用さ れていて、今は海に 浮いていた・現在の 主流はプラスチック	

肥料(葉 枝)	農業	釜谷	空いた畑に生えている草・次の作物を作るときに一緒に混ぜる	
馬さ編む	里山	釜谷	七夕に向けて馬を編むための草・干しておく・釜谷の七夕飾りは一日で作ってその日のうちに流す	
くず	農業	釜谷	葛の花・甘いにおい	
芽きゃべつ	農業	釜谷		

しの竹	農業	釜谷	外に出している・た この骨組みとして使 われている	
とまと	農業	釜谷		
真竹	農業	釜谷		
肥料(馬)	農業	釜谷	そのままにしておく と廃棄物・土とまぜ る	

タイトル	キーワード	地区名	説明	備考	写真
釜谷地蔵堂	集落	釜谷	各家の地蔵・右の大 きいものは遭難した若 者を弔う		
粟島民謡	集落	釜谷	・昔からあり、男女で フリが違う・今では合 わさったものもある・ 小学校や年中行事の ときに使われる		さらいとうとうというないとうでんとうは娘子にヤームしらは娘子にヤーム
たくあん	集落	釜谷	自家製		
あわしまあ ずき	集落	釜谷	自分で作る、秋に収穫・人によって味が違う・1日ゆっくりと煮詰めて粒がつぶれないようにする		

鮪の尾	集落	釜谷	2015年6月にトローリング漁で	
ウドの味噌 漬け	集落	釜谷	四月の初め・本土より 20日くらい早い	
神祀る	集落	釜谷	八幡様に上がれな かった人が来る・昔は 冬に神ぐらを行ったと ころ	
いしもずく	集落	釜谷	たまいしについてい る・お湯をかけると茶 色から緑色に・2015 年豊漁	
庚申塔	集落	釜谷	集落の入り口出口に 立てられている、釜谷 には2つあるがひとつ しか見つからず	

四季のあわしま	集落	釜谷	島の四季そのもの・棉作り	
えご	集落	釜谷	海草・7月終わりに収穫・干してからたたくという手間がかかる・内浦地区でしか取れない・昔は化粧品の材料で12000/kgしたが現在では1/6程度	
あわしま焼酎	集落	釜谷	んぽん(お母さんとい う意味)・島外で作っ ている	
げんきちの 力石	集落	釜谷	これを海岸からもって 来た・大蛇としんだ	

青さのり	集落	釜谷	岩肌に張り付いている。味噌汁やてんぷらに使える・収穫時期を間違えると白くなってしまいだめになる	
梅しそ じゅーす	集落	釜谷	疲労回復効果・11日 つけておく・梅酒にも できる	
日本マイマ イ	集落	釜谷	粟島では1種類のみ の右巻き	
お墓	集落	釜谷	二つの墓をたて、一つ は遺骨用、もうひとつ はおまいり用	
冷し汁	集落	釜谷	きゅうりとトビウオと味噌と氷、夏の定番である	

玄武岩	集落	釜谷	高温でも砕けない	
わっぱに会 場	集落	釜谷	昔はむしろ、今はテー ブルといす、焼いた石 を磯魚とねぎとみそを いれたワッパに入れ 味噌汁を作る	
すりこき	集落	釜谷	においがある・しまで はみんなが持ってい る	
弁天岩	集落	釜谷	しいなまことの小説で はくじら岩	

てんぐさ	集落	釜谷	ところてん・春先から 夏場まで取れる・春先 は状態がよい	
たまねぎ	集落	釜谷	じゃがいもと玉ねぎを あわせて干しておく	
ぎょうじゃに んにく	集落	釜谷	地元のもの・本島より 一ヶ月程度早い・春先 から3月の終わりまで と早い	
ぶり	集落	釜谷	今年のトローリングで 二匹釣り上げた	
梅のカリカ リ漬け	集落	釜谷	青いときからつけてお く・18日程度つけてお く	

えい	集落	釜谷	ひれの部分のみ→食 べやすいから・残った 部分は捨ててしまう・ ぬめりを取って干す、 特に山形県でよくたべ られている	
小倉町の水 道	集落	釜谷	小倉キャンプ場の水 道・ガリがなくおいしい といわれている	
お茶	集落	釜谷	桑とドクダミ→体にい いため	
じゃがいも	集落	釜谷	たまねぎと並んで主 力・自家製の男爵芋	

ダコ(しった か)	集落	釜谷	海で取れるもの・網に引っかかる・岩があるところにある・意外と 浅瀬で取れる・サザエ級の大きいものもある	
たこ飯	集落	釜谷	秋にタコ	
茎わかめの 炒め	集落	釜谷	茎わかめを乾燥させ て保存力を高める	
イナダ	集落	釜谷	年中・煮つけや刺身	

ほしたこ	集落	釜谷	竹をうまくはさんで形を作る・とるのは9~10月、寒い時期に干す・煮物やあぶりで食べる	
脱穀機	集落	釜谷	昭和9年ごろ・お金持ちが所持・村人全員は持っていない	
やせうま	集落	釜谷	厄災を払う、おはぎを 乗せる・一家にひとつ は作る・七夕祭りに使 用	
イモダコ	集落	釜谷	島では有名・秋に磯だこ・釜谷地区は足を一本使用する、内浦では切って使う	

祀念碑	集落	釜谷	本校と統合・バスで内 浦まで・平成7年の3 月に廃校	全谷のぞら ここに辞さ まら浦小学校をみからま
塩釜の所神 社	集落	釜谷	9月10月に祭りがあ る・正月にお参り	
石積護岸	集落	釜谷	地震で1.5M隆起	
旧学校	集落	釜谷	体育館	
自家製味噌	集落	釜谷	こうじと塩の加減で色 が変わる・空気に触れ るかでも色が変わる・ たるで作ると白味噌	

タイトル	キーワード	地区名	説明	備考	写真
カゴ	海	釜谷	とった貝を海に入れてお く・船の近くにある		
穴釣り	海	釜谷	かさご・ダイナンギンポ・ 目魚がつれる・磯に釣り 糸をたらしてつる		
延縄	海	釜谷	漁業に使われる・いったいの幹縄に多数の枝縄をつけ枝縄の先端に釣り針をつけた構成		
つりざお	海	釜谷	マダイ・イシダイをつる		

いけす	海	釜谷	水温高くなると魚はいや がる・沖合いの水が冷た いところにおいておいて 魚を生かす	
冷や汁	海	釜谷	夏の食べ物・冷たい味噌 汁のようなもの・きゅうり とみそととびうおと水でつ くる	
ささげ	海	釜谷	豆の内部に含まれていた 水分がなかなか抜けない ので何日も干す必要あり	
海	海	釜谷	透明度が高い	
漁船<長豊丸>	海	釜谷	刺し網漁法用の漁船	長登文 NOS-12555

灯台	海	釜谷	自動で光る	
イソモク	海	釜谷	海草・藻の根元について いる玉・ふむといい音が する	
漁協	海	釜谷	軽量して市場にまとめた 魚をもっていく・ここで買う こともできる	
地磯	海	釜谷		

ほしだこ	海	釜谷	水でもどして甘くにる・た こめし	
オイル	海	釜谷	エンジン内部にさびない よう塗ることでさびが防げ る	
岩山	海	釜谷	登れる・夕日をみるとき れい	
たこ釣りツ アーの竿	海	釜谷	赤いかになどの疑似餌を つけることでたこがかか る・生餌をつけることでか かる確率が上がる	

クッション (ペンドル)	海	釜谷	船が止まるとき傷つかな いようにするためのもの	
さしあみ	海	釜谷	漁でつかう・海に沈めて 魚を絡める	
たこめし握 り	海	釜谷	たこめしのおにぎり・たこ がぶつ切りで入ってる・ いわばでたこが取れる	
イナダ	海	釜谷	魚・引き釣りでも釣れる・ 刺身でも煮つけでもおい しい	
土産屋	海	釜谷	釣竿にカキ氷の旗	ANT DELIKS

魚を干すカゴ	海	釜谷	魚を干す・3段になってい て天井からつってある	
船着場	海	釜谷	冬場や波が悪いときに使う	
しょがら汁	海	釜谷	さば・いわしをぬかにつ けたものを洗って焼く・身 をほぐしてなべに入れて 大根おろしと煮る・ねぎを 入れて完成・秋のお昼	
トビウオ漁	海	釜谷	アゴ網(水面しかかからない網)・6月上旬からいっぱい・網目にささって取れる・漁師の力量で網の長さを調節する	
船修理場	海	釜谷	釜谷漁港のそばにある・この建物のすぐそこまで 海だったが埋め立ててしまった	

漁港の一 部(揚網 機)	海	釜谷	網をひくモーター	
ふぐのこ のぬかづ け	海	釜谷	6月にふぐ・ふぐの子は 猛毒なのでつける・焼い て食べる	
こぶだい	海	釜谷	塩漬けにしておく・ジャガ イモと共におすいものに する・味噌漬け・あわしま では鯨がとれないためコ ブダイを代わりにする	
漁のため の倉庫	海	釜谷	民宿の人が漁をするための倉庫	
観光用 わっぱ煮 会場	海	釜谷	10月ごろにする、島民も 一緒に食べる・白身中 心・青魚はいれない	

たいやに 棒を差して いる	海	釜谷	棒に竹をさして網をのば しながら引く	
しょがら	海	釜谷	ふぐの子、いわし、さば、 メジナ、クイドのぬかづけ、ぬかにつけてから10 0日たたないと毒が抜けない、生で食べる	
タイル	海	釜谷	海水浴場のところにある・地面に埋まっているタイル・防波堤にも続いている	2400 T 100
粟島図説	海	釜谷	幕末。明治の書家で童話 作家厳谷小波の父一六 は粟島を訪れて、観音を 拝し、その霊験に感じて 歌を残した	文元·公元 (1) (1) (1) (1) (1) (1) (1) (1) (1) (1)
引き釣り	海	釜谷	船の側面に疑似餌をつけ引っ張ってつる・シーラにつけ塩焼き・イナダ、マダイ、メジマグロ	

テーマ	島のお母さんと共に実践、離島の畑作りの楽しみ 類収穫と来春に向けた準備—	:秋一根菜
項目	内容	留意点
ねらい (目的・目標など)	自分たちで採った野菜を食べることで、満足感を 得るとともに、島の暮らしにふれて自分達の環境 を省みる。	
プログラムの概要	大根・カブ・大豆(種入れは7月・一部は枝豆として収穫済み)等の収穫/にんにく等の種入れ/ 菜っ葉の種入れ/キャベツの植えつけ その後料理して食べる。	
準備物等	島のお母さん方に教わる 軍手・長靴(天候悪化時のためのフード付パー カー)	
プログラムの流れ	①お母さん方に「何故このような場所に畑があるのか」等、島の歴史を絡めながら話をうかがい、自分達がこれから手伝う作業の重要性、島民にとって何がありがたいのかを理解する。昔は畑仕事の帰りに薪拾いをした。山のプログラムを合わせて行うことが可能。 ②畑に行って実際に目で見て体験してみる。島の海に面した段々畑で、海風を受けることで冬の厳しさを知る。 ③自分たちで採ったものを島のお母さん方とともに料理して食べて、島の食文化について体験的に理解を深める。 ※大豆などのプログラムでは、味噌作りなどをあわせて見学可能。 大豆収穫(11月末)→味噌作り(12月始め)	
プログラム後の展 開や関連事項	違う季節にも来たいと思ってもらう。手伝うことで 喜んでくれる人たちにふれて交流を深め定期的 来島を目指す。	
備考		

テーマ	島のお母さんと共に実践、離島の畑作りの楽しみ 収穫と根菜類植え付けー	:春一葉物
項目	内容	留意点
ねらい (目的・目標など)	島の暮らし・作業に触れて理解する。	
プログラムの概要	葉物類の収穫と、ジャガイモ・エンドウ・たまねぎ・ 金時豆・カボチャ・サツマイモ・ナガイモ等の栽培 手伝い(3~5月種まき・植えつけ→収穫6~10月)	
準備物等	講師:島のお母さん方に学ぶ 道具:カマ、クワ、耕運機、軍手、長靴、フード付 パーカー (※庖丁も準備しておくと農作業では 便利)	
プログラムの流れ	①歴史·保存方法等をうかがい、自分たちの作業が与える影響を考えさせる。②畑にいって作業を手伝う。③採れたものを使って、料理し島の食文化への理解を深める。 例: ①実際に村の家に行き、干してあるタマネギや大量に倉庫に入っているジャガイモを見ながら、いつ頃栽培するものなのか、他にはどんな作物を育てているのか、うかがう。 ②少人数のグループで複数の畑に行って、収穫等を手伝う。 ③各グループが収穫したものを持ち寄って料理し試食。(イモダコ等の郷土料理を味わいながら話をうかがい、意見交換をし、島の食文化の理解を深める)。調理過程で、塩漬けにする様子を見る。	
プログラム後の展 開や関連事項	春に植えつけたサツマイモ等を活用する十五夜 の行事や農作業に興味を持ってもらい、リピート してもらう。	
備考		

テーマ	島の里山再生と活用 (タケ・雑木・スギ林の手入れと活用実践)	
項目	内容	留意点
ねらい (目的・目標など)	伝統的な方法を用いて、島の里山を再生。 おじいちゃんとコミュニケーションをとりながら、里 山の生態を理解する。森づくりを通した島作りに 寄与。	
プログラムの概要	島の里山の適しを学びながら、島民とともに作 業・実践し、保全活用に貢献していく。	
準備物等	説明者(案内人) おじいちゃん(タケ・雑木林の手入れ) おばあちゃん(薪とりの仕方) ニナワ、バンドリ、ナタ、ノコギリ、背負い道具、 ロープ 等	
プログラムの流れ	①説明 里田の守古と課題 ②実践 I 1)タケ伐採→搬出(3パターン) a.急傾斜の場合 b. 平坦地の場合 c. 搬出条件のよいところの場合 2)雑木 たきぎ取り 3)スギ たきぎ取り 3)スギ たきぎ取り 3)まま II 1)タケ灯篭作り・タケ燃料・タケのおもちゃ作りなど 2)薪作り 3)たきぎ集積作業 ④活用(ストーブ利用、作成したオモチャの持ち	
プログラム後の展 開や関連事項	薪ストーブ、薪ボイラー、お風呂、味噌煮での活用 整備の結果、山菜や野草類の増殖に好影響が 期待できる。	
備考		

テーマ	山菜から知る島の暮らしと里山	
項目	内容	留意点
ねらい (目的・目標など)	山菜採りを通じて、島の里山の活用、島民とのコ ミュニケーション、人々の暮らしについて理解を 深める。	
プログラムの概要	3~5月(6月)の山菜採りのお手伝い。 おばあちゃん·おじいちゃんの知恵と技術 島·里山資源の保全活用(資源保全の伝統的 ルールを学ぶ) 収穫物を加工する技術(産品持ち帰り)	
準備物等	案内人(島のおじいちゃん;おばあちゃん) テゴ(カツラテゴなど) 竹炭液を虫避けで活用 カマなどのの準備(ウド採り用カマなど用途に応 じて)	テゴ編みプ ログラムと 関連付け可 能
プログラムの流れ	①山菜(タケノコ)説明 3月ハワサビ、アサツキ 4月シンノコ ウド 5月ウルイ、アマドコロ 6月ワラビ、マダケ、フキ、ミズ、イタドリ(ドングリ) 採りかたのルール説明 ②山菜採りの実践(里山歩き) ③収穫物の下ごしらえ 皮採り、ゴミ取りなど ④加工作業 塩漬け・瓶詰めなど ⑤料理作り・会食 作った産品の持ち帰り	
プログラム後の展 開や関連事項	山菜が育つ山の手入れ(タケの伐採、雑木伐採、たきぎ取り)などのプログラムと連動	
備考		•

テーマ	島のお母さんと作るテゴ(万能物入れ)編み	
項目	内容	留意点
ねらい (目的・目標など)	テゴを知り、暮らしを知る	
プログラムの概要	島のお母さん方と一緒にテゴ(紐やカツラなどの植物で編んだ物入れ)を作る。	
準備物等	講師:島のお母さん·おばあちゃん 紐(またはカツラなどの植物) ※長いものが良い 形状の違う紐や布 飾り付けのボタンやリボン	伝統的には カツラが使 われ利便性 が高い
プログラムの流れ	①テゴについてのお話を島のお母さん方に聞く。 →どういう使われ方をしているのか。 →いつ頃から作られ始めたのか ②テゴの作り方についての説明 →お母さん2人一組で(1話す人、2実演する人)で説明を行う。 ③実際に自分で作ってみる 4人グループぐらいで一人講師 作成後お母さんの評価、乾燥などを意見交換する	
プログラム後の展 開や関連事項	作成したテゴを使用した山菜採り・海草採りなど の島の手伝いを行う。島の暮らしや仕事に理解 を深めていく。	
備考	カツラテゴ:伝統的な材料としてカツラを使用 桂を取りにお母さん方と島の里山を散策(長袖・長 採取したカツラを干す→水につけて戻し、材料とし	

テーマ	挑戦 磯道普請	
項目	内容	留意点
ねらい (目的・目標など)	冬の生業(岩海苔つみの仕事)のための道の確保	
プログラムの概要	共同作業の意義と機能、よい(ゆい)の伝統を知 る、道作りをお手伝い	
準備物等	カマ、クワ等の手道具 案内人 現場指導者(主に島民)	
プログラムの流れ	①概要の説明(作業内容や主旨) ②道具の使い方、服装についての指導 ③道作りの手伝い ④海産物を利用することでの島民との交流	
プログラム後の展 開や関連事項	岩海苔の産品、おみやげによって島の味を知る	
備考		

テーマ	浜清掃と山道作り、ワカメ採り	
項目	内容	留意点
ねらい (目的・目標など)	雪解け後の島の暮らし、生業の道作りのお手伝 いを通じて島作りに寄与する	
プログラムの概要	浜の清掃、草刈り等(釜谷) 村内清掃、山道作り(内浦) ワカメの部位わけ、干し(ワカメ採り)	
準備物等	カマ、クワ、スコップ、箒、ナタ(山道作り)、ノコギリ(山道作り) 案内人 (地元島民)	
プログラムの流れ	①概要説明 ②道具の使い方の指導 ③道作り実践、作業(杭打ちなど) ④交流会(地元料理、ワカメ採りでは生わかめしゃぶしゃぶ等) ⑤山菜等の産品送付、お土産としても	
プログラム後の展 開や関連事項	作った道を使用しての山菜採り(タケノコ等) 竹整備のための導線確保	
備考		

【「乗り初め」+ (漁神楽)】 1月11日

目的 島の伝統行事への理解を深める

概要漁神楽も一緒に行われる。漁協が主催している「漁師のお祭り」である。

八所神社へ参拝に行き、その後おつまみ弁当と共にみんなでお酒を飲み酒

宴をひらく。島外の人も参加可能。

講師 島の伝統行事についての詳細を聞く。またはパンフレット化したものを事

前に配布する。漁師さんから直接お話をうかがうのも可。

今後の展開 島のほかの行事や祭りに参加してもらえるように、行事、祭りの案内、ま

たはパンフレットなどをつくり配る。参加者の声を聞き改善点を次に繋げ

る。

【七夕】 8月6日

目的 島独特の七夕を島外の人も一緒に参加して盛り上げる。

概要 島民と一緒にミニ馬作りをする。また内浦での短冊飾りつけなどを行う。

釜谷で作られた馬と島外の人が作ったミニ馬などを飾りつけた舟を夜、海

に流す。体験型の参加。

講師・材料
ミニ馬の材料となる藁、作り方の指導にあたる島民の方々。

今後の展開 粟島独特の七夕の雰囲気を味わい、釜谷と内浦でも異なる七夕をそれぞれ

体感。島外に持ち帰り、次回またその次回とひとを増やしていけるように

する。

【盆踊り】 8月13・14日

目的 島外の人も参加できる盆踊りを島民と一緒に踊ることでコミュニケーショ

ンを図る。

概要・講師 祭り当日に島民から盆踊りの踊り方を習う。参加型行事。近年その踊り手

が少なくなっている。

【八所神社祭礼】 10月26・27日

目的 村最大のお祭りを島外の人に知ってもらって理解を深める。

概要 26日の夜宮で村内にとうろう、のぼりを立てて準備をする。

27日の本宮では八所神社にて御神輿を担ぐ。参加型行事。

子どもが深夜12時~4時くらいまで太鼓を鳴らしながら村内を回る。

講師・準備物 とくになし

今後の展開 面白い祭りの存在を島外に広く知ってもらい、たくさんの人が参加して

もらえるように概要や内容をクリアにしていく。

【釜谷 六所神社】 10月8日

目的 島の文化に触れてもらい、伝統行事への理解を深める。

概要 竹灯篭作り、夜には出店をだす。9月には午後神主が神楽を舞う。

講師・準備物 竹灯篭の作り方を島民に教わる。竹をななめにきるためのノコギリ。

ろうそくの用意は特になし。

今後の展開 島外の人も楽しめるような出店や灯篭のつくりかたを考える。

※留意点 現在島民だけでは竹灯篭を作ることが困難。島外の人々と共に灯篭を作り

幻想的な風景を生み出して、祭りを楽しみたいという島民の思いがある。 この竹灯篭は、かつてふるさと協力隊が発案して実践した竹灯篭の一つ。

新たな竹利用の方法として考案された。

# 粟島の恵みを生み出すお手伝いツアー

粟島の魅力は「夏」だけじゃない。

島のおばあちゃん・おじいちゃんたちと共に「秋」・「冬」・「春」の魅力も体験しませんか?



美しい海に囲まれた粟島。この海は、里山や畑でろ過されたミネラル豊かな島の沢水によって育まれています。まさに粟島のおじいちゃん、おばあちゃんたちは、長年にわたって 里山の手入れを行い、畑を耕すことで、この美しい海を耕してきたといえます。

このツアーは、島の人たちとともに里山、畑、共同作業、各種手仕事など島伝統の暮らし のお手伝いを通じて、人と自然を元気にしていくプログラムです。



### •畑

粟島の畑作業は素朴な道具を用いてきめ細かに行う伝統農法です。おばあちゃんとともに海が見えるしおかぜの気持ちいい段々畑で、伝承野菜の栽培など季節ごとの農作業を楽しみます。



### • 里山

粟島の里山は山菜の宝庫。春は数多くの山菜採りが楽しめます。秋は島の伝統産業だった真竹(マダケ)の手入れ。伝統的な方法によって竹林を整備し豊かな里山を再生させます。



### ·伝統行事

島には100近い年中行事が存在しています。その中から島外の方も一緒に取組める年中行事を5つ厳選。お手伝いプログラムと共に島の人との交流を深めます。

### 島外者もお手伝いできる行事

- ①乗り初め漁神楽(1月11日) 漁師の祭り
- ②七夕(8月6日) 舟を流す
- ③盆踊り(8月13·14日) 事前練習参加者は、太鼓・うたいも可能
- ④釜谷六所神社祭礼(10月8日)
  - 竹灯籠作り
- ⑤八所神社祭礼(10月26·27日) 灯篭やのぼりを立てたり、神輿を担ぐ



### •共同作業

島の人たちは力を合わせて生業の 道を守ってきました。海苔採りのため の磯道普請などのお手伝いと交流を 通じて、粟島を生きる暮らしの文化に 触れます。



### ・郷土料理と手仕事

畑や里山の恵みを料理に。島のおばあちゃんたちの手料理を一緒に学び試食をします。また、カツラなどの島の植物を使った島伝統のかご「テゴ編み」なども体験します。



<1日目>

昼 : 粟島港到着 昼食とレクチャー 午後(プログラム1)

> 里山、畑、共同作業から季節に応じて選択 ※雨天時はテゴ編み作り

タ(プログラム2)

郷土料理教室・会食

<2日目>

午前(プログラム3)

里山、畑、共同作業から季節に応じて選択 ※雨天時はテゴ編み作り

乙姫の湯(温泉)入浴

昼:昼食·出発準備 午後:粟島港出港

### 持ち物·服装等

野外活動に適した服装(長袖長ズボン)、エプロン (郷土料理教室)帽子、タオル、入浴道具等

# 果島とは

観が広がっています。 生馬を育んだ里山の恵みが生馬を育んだ里山の恵みがです。本土側からは新潟村です。本土側からは新潟

みが魅力です。西海岸は日本海の荒波に洗われ澄んだ海と豊富な海産資源、そしてかつては野潟県最北端の市である村上市より汽船で1時人余り、日本海に浮かぶ周囲 20㎞ほどの離島の

おじ 出会いと島 ちやん お手伝 おばあ



に取組むことを通じて、人と自然を元気にしていくプログラムです。同作業、各種手仕事・伝統行事への参加など島伝統の暮らしのお手伝いこのツアーは、島外からの来訪者と島の人たちがともに、里山、畑、共

長年にわたって里山の手入れを行い

よって育まれています。まさに粟島のおじいちゃん、おばあちゃんたちは、粟島の美しい海は、里山や畑でろ過されたミネラル豊かな島の沢水に

い畑を耕すことで、のおじいちゃん、お

お手伝いプログラムの概要







### 本パンフレットは平成27年度新潟県大学生の力を活かした集落活性化事業により作成されました。

### モデルスケジュール例

### <1日日>

/T F	
昼	粟島港到着 昼食とレクチャー
午後	プログラム1 里山、畑、共同作業から季節に応じ て選択 ※雨天時はテゴ編み作り
タ	プログラム2 郷土料理教室・会食

### <2日日>

	H D /
午前	プログラム3 里山、畑、共同作業から季節に応じ て選択 ※雨天時はテゴ編み作り 乙姫の湯(温泉)入浴
昼	昼食·出発準備
午後	粟島港出港

### 持ち物·服装等

野外活動に適した服装(長袖長ズボン)、エプロン(郷土料理教室) 帽子・手ぬぐい・入浴道具等

### 

### 東京から岩船港まで



### 村上駅から岩船港まで



村上駅 約20分290円 岩船上大町 徒歩10分 岩船港



乗り合いタクシー※要予約

15分 中学生以上700円 小学生350円(未就学児無料) 乗車30分前までに予約

予約先:粟島汽船株式会社(tel0254-55-2131)



フェリー

普通船「フェリー粟島」 新高速船「awaline きらら」

※高速船は要予約

予約・問い合わせ

観光案内所 tel0254-55-2146 受付 8:30~17:00

当日の問い合わせ先

粟島汽船

岩船 tel0254-56-7792 受付 7:30~17:00

本プログラムに関するご相談は、 離島と都市を結ぶ地域づくり学習研究会 (大正大学地域構想研究所・出川)まで。

03-5394-3048

fax 03-5394-3055

mail s\_degawa@mail.tais.ac.jp

# 島のおばあちゃん・おじいちゃんお手伝いプログラム

### ①春: 畑仕事のお手伝い 3~10月

3月~5月種まき・6月~10月収穫

葉物類の収穫と、じゃがいも・えんどう・玉ねぎ・金時 豆・かぼちゃ・さつまいも・長芋などの栽培のお手伝い。 島のお母さんたちと一緒に畑仕事をして、採れた食材を 使った伝統料理に親しむことができます。



### ②春:ワカメ採り・浜清掃・山道作り 3~4月

集落の大切な生業の一つワカメ採り。集落共同でワカ メの収穫を行い、部位で分け、干していきます。作業後の 交流会でいただく生ワカメのしゃぶしゃぶは絶品です。

また、浜清掃や大工仕事が必要な山道づくりなど、島の 暮らしに欠かせない作業のお手伝いをします。



●①牧平の畑

### ⑤秋: 畑仕事のお手伝い 10~11月

大根・かぶ・大豆などの収穫と、にんにく・菜っ 葉の種入れ、キャベツの植え付けをお手伝い。 来春に向けて作物を植え付けたり、島の冬の畑 について体験することができます。また、冬なら ではの郷土料理を楽しむこともできます。

### いそみちぶしん

### ⑥秋:磯道普請のお手伝い 11月

冬の岩海苔つみのための道づくりのお手伝 い。海の裏手の山にクワなどを使って通り道を 作り、冬でも海におりられるようにします。また、 磯道を使って収穫できる岩海苔・その他海産 物を楽しめます。

## ●③山菜取りの里山

割老人憩いの家・資料館(テゴ編み)

### ●5内浦の畑

●⑦宮口の里山 (竹林再生のお手伝い)

### ⑦秋: 里山再生のお手伝い 9~11月

竹、杉、雑木林の手入れをお手伝い。竹の伐採、 杉・雑木林での薪取りをした後、竹灯籠やおもちゃ、 ストーブ・ボイラー用の薪を作ります。作った竹の

おもちゃを持ち帰ることができます。

### ③春:山菜採りのお手伝い 3月~5月

里山を歩いて山菜の収穫、そして塩漬け・瓶詰な どの加工のお手伝い。山菜は月によって採れるも のが違い、様々な収穫物を味わうことができます。 また、作った料理は食べたり、お持ち帰りしたりで きます。



### ●⑤釜谷の畑

- ●②ワカメ採り・浜清掃・山道作
- 4)さっこい交流館 (郷土料理教室)



### 4春·秋·冬:郷土料理教室

山仕事や畑仕事の後は、その恵みを 料理に。収穫したばかりの山菜や野菜 を、粟島の海の幸と合わせていただくプ ログラムです。島のおばちゃんたちから 郷土料理、手料理を学び、一緒に試食 をします。



### 8冬:テゴ編みのお手伝い 12~2月

紐、カツラなどの植物で、ポシェットバッグのような 万能物入れを編んで作るお手伝い。島のお母さんた ちによく使われているテゴは、山菜採りや海藻採り にも役に立ち、カバンのように使うこともできます。 ※雨天時のプログラムにもなります。

### 島外者もお手伝いできる島行事

島には100近い年中行事が存在していました。その中か ら島外の方も一緒に取組める年中行事を5つ厳選。お手 伝いプログラムと共に島人との交流を深めましょう。

- ①乗り初め漁神楽(1月11日) 漁師の祭り
- ②七夕(8月6日) 舟を流す
- ③盆踊り(8月13・14日) 楽しくおどる。事前練習参加 者は太鼓・うたいも可能
- 4)釜谷六所神社祭礼(10月8日) 竹灯籠作り
- ⑤八所神社祭礼(10月26·27日) 灯篭やのぼりを立てたり、神輿を担ぐ



大正大学 NCP フィールドワーク「地域づくり教育論」研究チーム